

K&W 第74号

神奈川と溶接

KNG WES 一般社団法人
神奈川県溶接協会

〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19
TEL 044-233-8367 fax 044-246-5265
E-mail: contact@kngwes.or.jp
web: https://www.kngwes.or.jp/index.html

2025年度第70回全国溶接技術競技会 結果

溶接技量の日本一を競う2025年度第70回全国溶接技術競技会が、2025年10月4日(土)・5日(日)の2日間に渡り、富山県高岡市のポリテクセンター富山および富山国際会議場、ANAクラウンプラザホテル富山にて開催されました。主催：(一社)日本溶接協会 / 北陸地区溶接協会連絡会 / (一社)富山県溶接協会

全国の都道府県大会を勝ち抜いた代表選手が技量日本一を目指し、被覆アーク溶接の部57名、炭酸ガスアーク溶接の部57名の合計114名にて、技を競いました。神奈川県からは下方お写真の4選手が出場されました。

被覆アーク溶接部門で、東芝エネルギーシステムズ(株)の野村秀樹選手が優秀賞を受賞され、炭酸ガスアーク溶接の部で東芝エネルギーシステムズ(株)の馬原涼太選手が優良賞を受賞されました。

なお、最優秀賞選手は下記の通りです。

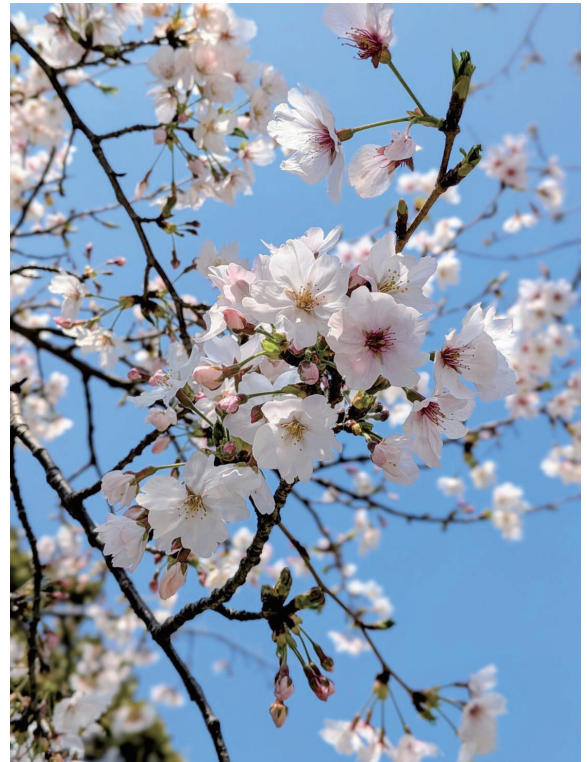
・被覆アーク溶接の部

福岡県代表 井上 裕貴 (株)高田工業所

・炭酸ガスアーク溶接の部

愛知県代表 浜野 元輝 (株)豊田自動織機

表彰式は6月10日(水)に実施されます。



兼平 雅樹 選手

東芝エネルギーシステムズ(株)
炭酸ガスアーク溶接部門
神奈川県第2位

馬原 涼太 選手

東芝エネルギーシステムズ(株)
炭酸ガスアーク溶接部門
神奈川県第1位

横川 直弘 選手

三菱重工業(株)
被覆アーク溶接部門
神奈川県第1位

野村 秀樹 選手

東芝エネルギーシステムズ(株)
被覆アーク溶接部門
神奈川県第2位

次回、第71回全国溶接技術競技会は2026年10月10日(土)・11日(日) 北海道苫小牧市の北海道立苫小牧高等技術専門学院(開会式および技術交流会はグランドホテルニュー王子)にて開催されます。

2026年 第69回 神奈川県溶接技術コンクール開催

2026年3月19日(木)に、(一財)日本溶接技術センターにおいて第69回神奈川県溶接技術コンクールを開催しました。全国溶接技術競技会の競技課題は概ね5年ごとに変更となっており、今大会から新しい競技課題に変更となりました。

薄板の溶接姿勢が立(上進)から横に変更となり、中板の溶接姿勢が横から立(上進)に変更となりました。薄板については、邪魔板の取付位置も変更となっております。

今開催は34名(被覆アーク溶接10名、炭酸ガスアーク溶接24名)の選手が参加しお互いの腕前や技量を競い合いました。



なお、外観審査はコンクール当日に行い、後日、X線審査、曲げ試験審査および最終審査を行い総合順位が決定します。

総合順位で被覆アーク溶接上位2名、炭酸ガスアーク溶接上位2名の計4名が、2026年10月10日(土)、11日(日)に北海道苫小牧市で開催される第71回全国溶接技術競技会の神奈川県代表選手として推薦されます。

※第69回神奈川県溶接技術コンクールの結果および総合順位は次号で報告します。



<コンクール概要>

- ・主催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 2026年3月19日(木)
- ・会場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加企業 12企業 34名

被覆アーク溶接の部:	6企業	10名
企業名 (あいうえお順)	人数(10人)	
コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部	1	
コベルコ溶接テクノ(株)リョウショウ技術部開発試験室	2	
JFEエンジニアリング(株)導管事業部	1	
(株)総合車両製作所	1	
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	3	
三菱重工業(株) 相模原製作所	2	

半自動溶接の部	11企業	24名
企業名 (あいうえお順)	人数(24人)	
(株)IHI横浜工場	2	
コベルコ溶接テクノ(株)CS推進部	1	
コベルコ溶接テクノ(株)リョウショウ技術部開発試験室	2	
JFEエンジニアリング(株)鶴見製作所	2	
ジャパンマリンユナイテッド(株)横浜事業所	3	
住友重機械マリンエンジニアリング(株)	3	
(株)総合車両製作所	1	
東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所	3	
日産自動車(株) 横浜工場	2	
富士電機(株)	3	
三菱重工業(株) 相模原製作所	2	

第25回 高校生ものづくりコンテスト全国大会 溶接競技部門

2025年11月8日(土)、9日(日)に徳島県徳島市の県立中央テクノスクールにおいて、第25回高校生ものづくりコンテスト全国大会が開催されました。出場選手は全国各地区代表9名と開催地枠選出1名の合計10名で、争われました。

神奈川県からは神奈川県立川崎工科高等学校2年生の小林佳之依さんが出場されましたが、結果は第7位となりました。

なお全国大会の優勝選手は、愛知県立豊田工科高等学校の山本来惟希さんです。

見学会実施報告

JFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区 見学会 ～研究設備と製鉄プロセスを見学～

2026年2月16日、当協会主催による見学会を開催し、会員等40名が参加しました。今回の見学先はJFEスチール株式会社東日本製鉄所千葉地区で、川崎駅に集合した後、貸し切りバスで現地へ向かいました。

敷地総面積は約765万平方メートルと、東京ドーム約165個分に相当する広大なものであり、各見学場所間の移動はバスで行いました。

午前は研究所を訪問し、10時から12時まで研究設備の見学を行いました。はじめに研究所の概要説明を受けた後、溶接・材料評価に関する研究設備である溶接技術開発センター(JWI-ArC ※1)および大型破壊・疲労評価センター(JWL-CIF² ※2)を見学しました。これらの設備では、溶接材料や接合部の特性評価、各種試験・分析が行われており、実際の試験装置や研究の取り組みについて担当者から詳細な説明を受けました。特に、8,000トン引張試験機や導管曲げ試験体(48インチ)の実物を内側から見学する機会もあり、その規模と迫力を体感しました。参加者からは、設備の性能や試験方法、実際の活用事例などについて質問が寄せられ、意見交換が行われました。

午後は製鉄工場へ移動し、13時から15時まで操業設備の見学を行いました。はじめに製鉄所概要の説明および紹介DVDを鑑賞し、原料投入から溶融・精錬に至るまでの製鉄プロセスについて理解を深めました。その後、世界で3基、日本では唯一とされる底吹き式転炉および熱間圧延の見学を行い、製鉄プロセスの概要や操業上の工夫について説明を受けました。大規模設備が稼働する様子は圧巻であり、製鉄技術のスケールと迫力を体感する貴重な機会となりました。

今回の見学会では、研究開発部門と製造現場の双方を見学することにより、製鉄および溶接関連技術の実際の取り組みについて理解を深めることができました。参加者からは、「研究設備と製造現場の双方を見学でき大変有意義であった」「最先端の溶接技術や設備を見学でき、非常に参考になった」「熱間圧延や転炉の迫力に圧倒された」などの声が寄せられ、非常に充実した見学会となりました。

末尾ながら、ご多忙の中、見学を受け入れていただき、丁寧なご説明を賜りましたJFEスチール株式会社の皆様に、心より御礼申し上げます。

※1. JWI-ArC (JFE Welding Institute - Advanced Welding and Joining Research Centerの略、JFEスチールの登録商標)

JWI：溶接・破壊・疲労分野全体の研究開発拠点構想を指す造語

ArC：溶接技術開発センター。鉄鋼材料の溶接・接合技術を開発するための拠点という語意

※2. JWL-CIF² (JFE Welding Institute - Center for Integrity against Fatigue and Fractureの略)

JWI：CIF²を含め、溶接技術開発拠点、JFEウエルディング協働研究所との連携を含む、溶接・破壊・疲労分野全体の研究開発拠点構想を差す造語。

CIF²：大型破壊・疲労評価センター。鉄鋼材料の破壊・疲労に対する健全性を評価するための拠点という語意

【JFEスチール株式会社様 HPより引用】



参加者集合写真 (JFEスチール株式会社 見学センター前にて)

第17回 神奈川県高校生溶接コンクール 開催

2026年1月31日(土)に(一財)日本溶接技術センターにおいて、第17回神奈川県高校生溶接コンクールを開催しました。このコンクールは、日本のものづくりを支える溶接技能の普及・啓発を図り、製造業の若き担い手育成を支援する目的で開催するものです。この大会の優勝者および準優勝者は、2026年4月25日(土)に(一社)日本溶接協会 溶接技術中央検定場にて開催予定の、第16回関東甲信越・北陸高校生溶接コンクールおよび第26回高校生ものづくりコンテスト関東ブロック予選大会の神奈川県代表選手として推薦されます。



参加者8校17名（県立川崎工科：3名、県立向の岡工業：2名、県立神奈川工業：3名、県立平塚工科：3名、県立藤沢工科：2名、県立海洋科学：1名、県立磯子工業：2名、県立横須賀工業：2名、※いずれも高等学校を省略表記）

<コンクール結果>

優勝 小林 佳之依（県立川崎工科高等学校）
 2位 香取 実奈子（県立向の岡工業高等学校）
 3位 永瀬 柊宇（県立川崎工科高等学校）
 4位 鈴木 祥平（県立向の岡工業高等学校）

<関東甲信越高校生溶接コンクール神奈川県代表選手>

小林 佳之依（県立川崎工科高等学校）
 香取 実奈子（県立向の岡工業高等学校）



優勝の小林佳之依さんと2位の香取実奈子さんが、関東甲信越高校生溶接コンクールの神奈川県代表選手となります。お二人から意気込みと、コンクールに向けての課題についておうかがいしました。

優勝 小林佳之依さん・県立川崎工科高等学校
 昨年に続き2度目の神奈川県代表になります。
 一位を取って、次の大会(全国大会)に出場できるように頑張ります。
 一層目が安定しておらず、四層目の始めと終わりが定まっていないので、そこを注意します。

2位 香取実奈子さん・県立向の岡工業高等学校
 初めての大会なので緊張もあるのですが、北海道(全国大会)に行くために一位を取ります。
 最終層の波が定まっていないので、もう少し綺麗にまとめられるように頑張ります。